




下戸ですが晩酌には少しだけ



写真と文が響きあう

みのすけ





# 目次

下戸ですが晩酌には少しだけ . . . . .	1
スポーツ広場 . . . . .	3
満月と恐竜 . . . . .	5
中の島公園の薔薇と堂島風景を多重露出撮影 . . . . .	7
お知らせ . . . . .	13



下戸ですが晩酌には少しだけ



DSC\

夏場のビールは喉を刺す苦みが堪らず好き。

働き始めた頃、仕事帰りに同僚と飲む生に大人を感じていた。

元々下戸で缶ビール普通サイズ1本で十分事足りた。

それ以上飲むと入浴時に頭痛がして動悸も気になる。

夏が過ぎる頃、喉の渇きも収まり、この1本の後半には苦みも飽きてくる。

涼しくなるコスモスの頃は鍋料理と少し甘みのある日本酒が恋しい。

喉越しもビールから冷酒に衣替え。

ただ熱燗は鼻にツーンと来て、もひとつ良さが分からない。

下戸だが中々難しい。

酒には通の大人に熟れない、青年の初心さが残っている。

## スポーツ広場



DSC\

スポーツ広場の入口でトラと出会う。

私は走りながら、スポーツは楽しいですねと問う。

トラは散歩ですと返す。

心臓が弱いので持続するスポーツは嫌いとの事。

マラソンは苦手らしい。

趣味でスポーツはしないらしい、食べる為に走るとの事。

私は今、トラに追っかけられている。



## 満月と恐竜



DSC\

恐竜の眼前に今で言うドーナツ状の食べ物が宙に浮いている。

腹をすかした恐竜は臭いをかかず無臭であるが疑わないで食べた。

ドーナツの穴だけが残り、その場で宇宙の穴になる。

恐竜は目の位置にある穴を覗いてみると間近に月が見える。

望遠鏡で見ているように、月の表情が手に取るように分かった。

今まで見た中で一番きれいな満月が見えた。

しかし満月は悲しみな表情に溢れている。

その後恐竜は見続けると、穴から見える月は哀しみや憂いある表情を繰り返す。

10年目の秋、一層輝いた満月になり、穴は輝きに満ちた。

恐竜が恐る恐る覗くと他の惑星の未来社会が見えた。

同時に凄い勢いで寒気が流れ込んで来た。

寒気は恐竜世界を氷河期へと一変させた。

恐竜は穴に寒気を追い出した惑星の灼熱地獄を見たかも知れない。

地球の温暖化を助長し、氷河期の恐竜と同じ運命を辿る。

恐竜は人間だったかも知れない。

中の島公園の薔薇と堂島風景を多重露出撮影



DSC\

花咲か爺さんになり、簡素な高層マンションの屋上に薔薇を咲かせました



中の島の薔薇は中央公会堂の住人でも有り、笑顔で旅人を迎えて呉れます



北浜ビジネス街のライオン橋、レトロな風景には純白なバラがよく似合う



北浜に吹く景気の向かい風、老ライオンを労わる早咲のバラ



もっともっとと、青空高く背伸びする薔薇にライオンはアドバイス



装飾門扉に囲われた赤い薔薇、心の中では自己との葛藤  
不自由な柵から逃げ出したい、燃える闘争心



お知らせ



DSC\

オリジナル写真は写真素材サイトの PIXTA と photolibrary で販売中です。

興味のある方は作者名 [みのすけ](#) で検索して頂ければ幸いです。

よろしければ是非ご高覧ください。

---

下戸ですが晩酌には少しだけ

---

著 者 書籍情報の編集ページから、著者情報を入力してください

制 作 Puboo  
発行所 デザインエッグ株式会社

---